



令和6年5月10日

研修だより 10号

## 知識・技能の習得のために

小笠原康晃

子どもたちの思考力を向上させるために必要な知識・技能の習得。  
そのために、先生方はどのような工夫をしているのでしょうか。

先日、牧野先生は朝読書の時間に学校図書館の活用をしていました。  
読書は、読解力や語彙力の向上に繋がります。

学級文庫だけでなく、学校図書館という広い場所から書籍を選ぶこと  
で、子どもたちの関心も高まります。

読書の楽しさを知りながら、知識・技能を習得することができます。

読書をするとき、ノンフィクションのものを選択した方が、語彙力の向  
上に繋がるそうです。

土屋先生は、朝読書に時間に新聞を読むことを進めています。

6年生の学級には子ども新聞が届けられます。

学級の中で新聞を置いておくことで、朝読書の時間に新聞を読むことが  
できます。

新聞の内容はノンフィクションです。

さらに、文章の内容が短くまとめられているため、様々な情報を得るこ  
とができます。

電子端末を使わず、紙の新聞を読むことで、大量の情報から必要な情報  
を選択する力を身に付けさせることができます。

「新しいことに取り組むよりも、

今取り組んでいることの質を高めていく。」

このことが、知識・技能の習得に繋がる方法のように感じました。